

新たなスペイン語授業の模索
—語学不要論と教員不要論に反論するための三つの教授法—
第 165 回関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA) 例会
日時：2023 年 10 月 8 日 (日) 15:00 - 17:00
場所：Zoom を利用したオンライン開催
担当：岡村ビクトル勇

**En busca de una nueva clase de español:
Tres métodos didácticos contra las teorías que sostienen que no hacen falta
clases de lenguas o que no hacen falta profesores**

CLXV Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai (TADESKA)
Fecha y hora: Domingo, 8 de octubre de 2023, de 15:00 a 17:00
Lugar: En línea (Zoom)
Ponente: Víctor Isamu OKAMURA

2023 年の春学期の授業では新たな試みをいくつか実践することで、マンネリ化してしま
い、やりがいの感じられなくなった授業に変化をもたらそうと努めました。語学の必要性和
対面で授業する教員の必要性について考えた上で、専門外ながらも三つの教授法と個別具
体的なアイデアを考えました。

この発表は新たな取り組みについての実践報告です。発表時の章立てと簡潔な内容は以
下の通りです(詳細な内容については発表時に用いた資料をご参照ください)。

0.はじめに(アントニオ先生との再会と決意)

ここでは、発表者の敬愛する教師(実在の人物をベースにした映画の登場人物)の言葉を引
用した後に、授業をすることが辛く感じられる理由と、それにどう対処すべきかについて考
察しました。(章題の「アントニオ先生との再会」というのは、映画を観直した際に、強い
感銘を受けたことを指しています。)

1. Garakuta Gadget method

1 章から第 4 章までは、自分なりに考案した教授法について紹介しました。

この章では、アナログの機器(レコードプレイヤーなど)を教室に持ち込んで、授業に変化
をつける方法について話しました。スペイン語の学習に直接役立つような実践はあまりな
いのですが、学生を驚かせたり、楽しませたりして、とにかく注目してもらうことや、記憶

に残るような授業を目指すことも大切ではないかという考えを述べました。

2. Empty Box Method

ここでは教員の頭の中にある知識を学生の頭の中に入れるのとは異なる授業の形について紹介しました。教員はただ空箱を用意し、学生たちがそこに学習の成果などを入れることで空箱を宝箱にするというのが基本的な考えです。学生たちに街中にあるスペイン語の看板を撮影してもらい、それを共有ファイルに入れてもらうという試みや、その他いくつかのアイデアについて話をしました。

3. Wall Break Method

学生と教員の間にある壁を壊して橋に変えるための方法について紹介しました。教える側と教わる側という関係が固定し、教員に学生の気持ちが分からない、学生が受け身すぎて学ぶ主体にならないという問題の解消を目指した取り組みの報告です。教員が新たな外国語を学習することで学ぶ側となったり、学生に特殊なテストの採点をさせることで教員のポジションに立ってもらったりしたことなどについて話をしました。

まとめ

以上の内容をまとめ、語学は不要であるとか、講師はAIで代用できるという考えに反論しました。また、外国語の授業を単に言語を学ぶだけではなく、「みんなで協力すること」と「工夫すること」について学ぶ場(コラボレーション・ラボ)にしたいという考えを提示しました。

質疑の時間について

出席者が多く、時間も豊富にあったことから、質疑の時間は大変充実したものになりました。発表内容に対する質問や意見に加えて、出席者が授業で実践している多くのアイデアが紹介されました。歌詞が一語ずつ書かれた紙を配り、音楽を流しながら正しく並べさせることや、学内イベントで訪問するテーマパークでスペイン語の看板を撮影してもらい点数を競わせることといったゲーミフィケーション理論に基づいた実践など、さまざまな魅力的なアイデアについて報告がありました。

発表を終えて

この発表の後にもさまざまな工夫をして授業を実践しています。最近、「インクルーシブ」をキーワードにして授業をしています。学生に積極的に参加してもらい、色々なアイデアを試すというのは以前と同じですが、新たな試みとして「日本語を学習するスペイン語話者」の力を借りるようになりました。

彼らの書いたスペイン語を読んだり、彼らが送ってくれる写真を使って文化の紹介をし

たり、日本語学習に熱心に取り組む彼らのテキストやノート(日本語とスペイン語が混ざっている)を見せることで、学生たちの外国語学習意欲を高めようとしています。

課題はまだまだたくさんありますが、授業にやりがいを感じられないということは完全になくなりました。